

<別紙3>

■装置仕様

① COMCIPHER XL2B

	項目	内容
1	装置名称	COMCIPHER XL2B
2	暗号化方式	AES(FIPS-197 準拠)
3	キー数	256bit
4	キー構成	(1) 共通鍵 ①マスタキー(ワークキー暗号化用) ②ワークキー(ユニキャストデーティング用) ③マルチキャストキー(マルチキャストデータ暗号化用) (2) 公開鍵(マスタキー暗号化用)
5	適用回線	レイヤ2サービス回線(広域イーサネット接続サービス)、データファイバー
6	スルーフット(双方向)	10Gbps
7	インターフェース WAN-CIPHER	10GBASE-LR/10GBASE-SR (XFPモジュールの選択により変更可能)
8	CIPHER-LAN	10GBASE-LR/10GBASE-SR (XFPモジュールの選択により変更可能)
9	ローカルポート	100BASE-TX(MDI-X)
10	暗号化/復号フレーム	ユニキャスト、マルチキャスト
11	適用構成	ホント・ツー・ホント、ホント・ツー・マルチホント、 マルチホント・ツー・マルチホント
12	物理鍵による保護機能	物理鍵により装置設定用ローカルポートを保護
13	対向可能な暗号装置数	1023台(同一ネットワーク上に1024台の設置が可能)
14	登録及び学習可能な端末数	2000台(対向可能な暗号装置数含む)
15	透過機能	・マルチキャスト暗号モード(有効) : プロードキャスト/VLANタグ/スパンクング ツリーフロトコルは暗号化せず透過 ・マルチキャスト暗号モード(無効) : プロードキャスト/マルチキャスト/VLANタ グ/スパンクングツリーフロトコルは暗号化せず透過

項目	内 容
16 不正行為に対する 鍵保護機能	不正行為・装置解体時に、設定情報及び暗号キーを自動消去
17 バイパス機能	手動による物理レベル、コンソールによる論理レベルバイパス
18 診断機能	ROM/RAM チェック、ローカルバスチェック、データバスチェック 乱数生成チェック等
19 モニタ/管理機能	(1)装置前面の LED 表示 (2)ローカル端末フローウザーソフトによる GUI でのアラーム/アラーム履歴表示 (3)イベント履歴出力機能(アラーム履歴含む) (4)SNMP 対応 (5)NTP 対応 (6)Syslog 対応
20 温度条件	0～40°C
21 湿度条件	85%以下(但し結露しないこと)
22 電源条件	AC100V±10V, 50/60Hz
23 消費電力	約 45VA
24 VCCI	Class B
25 外形寸法	約 420(W) × 370(D) × 88(H)mm 高さはコム足(14mm)含まず
26 質量	約 8.5kg

以上